

氏名	大 島 浩 一		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	甲 第 543 号		
学 位 授 与 の 日 付	昭和58年 3 月31日		
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科外科系眼科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学 位 論 文 題 目	脈絡膜における神経分布に関する研究 第1報 モノアミン作動性神経の蛍光顕微鏡による観察 第2報 ノルアドレナリン神経終末の分布密度の検討		
論 文 審 査 委 員	教授 新見嘉兵衛	教授 大塚長康	教授 森 昭胤

学位論文内容の要旨

著者は脈絡膜に分布する神経系を形態的に解析する目的で、白色家兎脈絡膜を用い、組織蛍光法 (Falck-Hillarp 法と Faglu 法) を適用して伸展標本と切片を作成し、ノルアドレナリン作動性神経 (以下 NA 神経と略す) を蛍光顕微鏡下に観察した。

後毛様動脈支配領域では、NA 神経は細動脈を中心として分布していた。NA 神経は細動脈の血管平滑筋を介して循環調節に関与していると考えた。

周辺部脈絡膜では、NA 神経は毛様体から脈絡膜に伸びてきて、細動脈の走行とは無関係に、後方へ向けて毛細血管板と血管層の間に樹枝状に分布していた。これらの NA 神経の一部は周辺部脈絡膜の細動脈に終末していた。この NA 神経は周辺部脈絡膜における循環調節に補助的な役割を果していると推測した。

論文審査の結果の要旨

本研究は脈絡膜に分布する神経系を組織蛍光法を用いて詳しく研究したもので、従来十分に解明されていない脈絡膜動脈の神経支配について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。